

# 要望書

国産畳表の需要拡大について



【G7 広島サミット国際メディアセンター広報展示】

令和5年7月  
熊本県八代市  
熊本県氷川町  
八代地域農業協同組合



畳表となる いぐさは、熊本県八代地域の基幹作物であり、約510年の栽培の歴史を有し、当地域の作付面積は全国の9割以上を占める日本一の産地として、日本の住宅文化を支えております。

しかしながら、生活様式の変化による畳需要の減少や外国産畳表及び化学表との競合による価格低迷等により、生産者数、作付面積ともに減少傾向にあり、産地を取り巻く状況は一層、厳しさを増しております。

畳表には、日本の気候に適した湿度調節機能、シックハウスの原因とされる化学物質を吸着し、空気を浄化する作用、優しい香りで心を癒すリラックス効果などの効用があります。

このように様々な効用のある国産畳表の需要拡大を目的として、当地域では、従来より、全国をリードする主要産地として、国産畳表の魅力を広く全国の消費者の方々に共有していただくため、消費者が産地や生産者の確認を行うことのできる熊本県統一産地表示（QRコード付タグ）の普及、地理的表示（GI）保護制度の活用などの取組を積極的に行ってきたところではあります。

つきましては、日本の伝統文化である畳を次世代につないでいくため、国におかれましても、国産畳表の優れた性質や多様な活用方法等に関する理解を深め、利活用を拡大して頂けますよう、意見交換会やシンポジウムの活用など、住宅関係団体等を巻き込んだ啓発活動への一層のご支援をお願いします。

併せて、国の施策において、公共施設等での和室設置を推進し、国産畳表を指定するなど、国産畳表の利用促進策の積極的展開をお願いします。

令和5年7月

八代市長

中村博生

氷川町長

藤本一匡

八代地域農業協同組合  
代表理事組合長

山住昭二